

新日语N2教程

总主编：张鸿成

副总主编：钱力奋

黄辉

编写：李道荣

主编：黄辉



上海译文出版社

新日语N2教程

总主编：张鸿成
副总主编：钱力奋
黄辉
编写：李道荣
主编：黄辉

しんにほんご
N2きょうてい



上海译文出版社

图书在版编目(CIP)数据

新日语 N2 教程 / 张鸿成, 钱力奋, 黄辉等编著. — 上海: 上海译文出版社, 2011. 12

ISBN 978 - 7 - 5327 - 5621 - 6

I. ①新… II. ①张… ②钱… ③黄… III. ①日语—水平考试—自学参考资料 IV. ①H360. 41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 218850 号

本书中文简体字专有出版权
归本社独家所有, 非经本社同意不得连载、摘编或复制

新日语 N2 教程

张鸿成、钱力奋、黄辉 等编著

上海世纪出版股份有限公司
译文出版社 出版、发行

网址: www.yiwen.com.cn
200001 上海福建中路 193 号 www.ewen.cc
全国新华书店 经销
上海宝山译文印刷厂 印刷

开本 787×1092 1/16 印张 18.25 字数 364,000
2011 年 12 月第 1 版 2011 年 12 月第 1 次印刷
印数: 0,001—4,000 册
ISBN 978 - 7 - 5327 - 5621 - 6 / H · 1004
定价: 42.00 元(含 CD 一张)

本书如有质量问题, 请与承印厂质量科联系。T: 021-56433744

总序

中日两国一衣带水，在经济、贸易、科技、文化、教育诸方面交往日益频繁、广泛，我国学习日语的人员越来越多。同时，对日语教材也提出了全新的要求。在这一背景下，我们组织了多所大学的资深教师，根据多年教学经验，以及对社会需求的了解，群策群力，分工合作，共同努力精心编写了这套日语新教材。

本套教材着眼于学生综合能力的提高。编写宗旨是听说领先，兼顾其他。课文选材多样，题材新颖，语言规范，贴近生活。科学性、知识性、趣味性和实用性都很强。本套教材的整个编写过程始终注意把握“以学生为主体，以教师为主导”和“学用结合，为用而学”的编写思路，以实现“实用为主，够用为度”的教学目标为主线，努力构造较为合理的教学模式，激发学生学习热情，逐步提高学生成绩。本教材的编写要领是：一切以方便学生学习为主。不论是课文、语法解释还是练习，所有日语文章或句子中的汉字词汇全部标注了日语读音，方便学生阅读、复习和预习。学习外语的最有效途径就是勤学、多练。为学生提供的练习量丰富是本教材的一大特色。学习日语的学生大都要参加“国际日本语能力测试”，然而目前全国还没有一套教材既是系统语言教学又兼顾“国际日本语能力测试”，给学生带来诸多不便。本教材在编写时充分考虑到学生的这一需求，每课的练习中，除了编写与课文有关的练习外，还列出了相关的“国际日本语能力测试”模拟题。此举可谓全国首创，也是本教材的一大特色。这些设想和构思的目的只有一个，就是最大限度地调动学生课堂参与的积极性，课后复习、预习的主动性，师生教与学的互动性和可操作性，使学生的日语能力有较快的提高。

本教材的使用对象为高等院校日语专业学生，也可以供日语自学者以及各类日语进修学校使用。

本教材由上海建桥学院张鸿成任总主编，上海建桥学院钱力奋、语泉教育黄辉任副总主编。在编写过程中始终得到上海建桥学院和语泉教育的鼎立支持和帮助，在此表示深切的谢意。

本教材在编写过程中参考并采用了一些国内外的有关资料，一并致以深深的谢意。

由于能力有限，时间仓促，本套教材难免存在不足和欠缺，敬请广大使用者给予指正，并将意见及时反馈给我们。

总主编
2011年1月

前　　言

随着我国经济实力的迅速发展,国际交往日益频繁,我们与世界各国在政治、经济、文化等领域的交流也越来越多。日本是我国一衣带水的邻邦,两国间的友好往来源远流长,尤其是改革开放以来,中日两国间的经济贸易往来、商务谈判等与日俱增。因此,培养日语人才就成为当务之急。本书正是为高等院校日语专业编写的基础教材,也可供各类日语教育、日语自修及日语工作者参考使用。

本教材结合时代特点,在内容上具有科学、实用、新颖等特色;语法讲解清晰有条理,由浅入深,易于学生理解;并通过大量的课后练习,帮助学生巩固所学的知识;本教材的另一特色是:结合日语能力考试,编者增加了针对日语能力考试的练习Ⅱ。同时,在这一部分编者特意选取了与课文相关联的阅读理解内容,以加深学生对课文的理解。练习Ⅱ的难易度相当于日语能力考试2级水平,在练习Ⅱ中会出现一些生僻的单词,学生可借助字典来完成这个练习。

本教材是第四册,适用于二年级下学期使用。全书共有十五课,编者精心选取了与日本社会文化相关的内容。希望学生在学习日语知识的同时,逐步了解日本的传统文化。并且进一步结合时下的日本社会,选取了诸如风土、人情,自然等方面的内容。希望学生通过本教材将单纯的日语学习变成一种立体化、全面的学习,为今后更加深入的学习打下基础。

本教材由华东师范大学李道荣主编。由黄辉统一负责审核工作。每课共由九个部分组成,即引言、课文、应用文、单词、词汇解说、语法句型、练习、能力考试及小知识等。在本书的语法解说和练习中有部分新出现的单词未列入词汇,这些单词作为学习的拓展词汇,不再列入词汇表。

本教材在编写过程中,得到上海建桥学院和语泉教育的大力帮助。在此深表感谢。

由于编者的能力和时间仓促教材中难免存有纰漏之处,敬请指正,并请将意见及时反馈给我们。

编者

2011年7月

目次

第一課	ありの行列	ぎょうれつ	1
第二課	体を守る皮膚	からだ まも ひふ	17
第三課	心に沁みるいい話	こころ し はなし	33
第四課	日本の風土と言語生活	にほん ふうど げんご せいかつかつ	49
第五課	言葉の力	ことば ちから	65
第六課	新発明のマクラ	しんぱつめい	81
第七課	自然を守る	しぜん まも	99
第八課	女性の意識変革	じょせい いしきへんかく	115
第九課	パソコン通信というコミュニケーション	つうしん	132
第十課	桜と牡丹	さくら ばたん	148
第十一課	単身赴任は肥る	たんしんふにん ふと	164
第十二課	旅行とお土産	りょこう みやげ	179
第十三課	案内者	あんないしゃ	195
第十四課	友情について	ゆうじょう	211
第十五課	幸福の瞬間	こうふく しゅんかん	227
	词汇总表		242
	语法索引		273

だいいつ か

ぎょうれつ

第一課 ありの行列

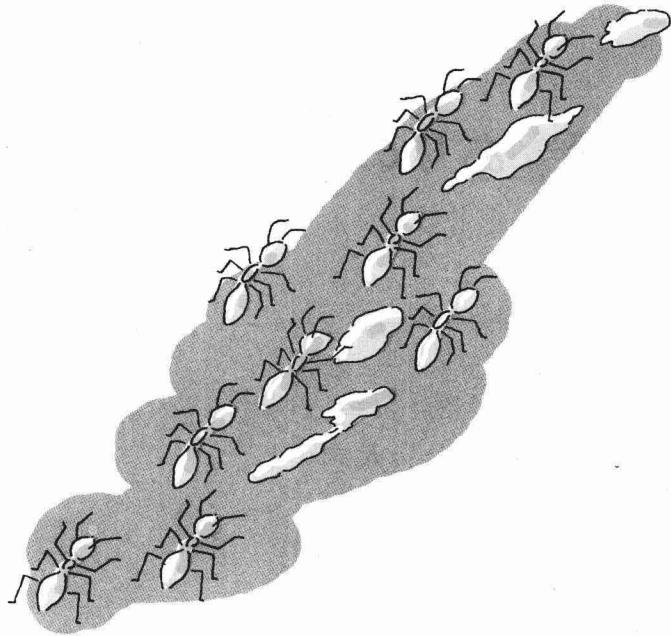
1. ~ことに
2. ~にむかって
3. 数量詞+と
4. ~に沿って
5. ~やすい
6. ~ほど
7. 数量詞+も
8. たとえ~ても
9. ~とすれば
10. ~ないと~ない

本文

夏になると、庭の隅などで、ありの行列をよく見かけます。その行列はありの巣から、餌のある所まで、ずっと続いています。ありが物がよく見えません。それなのに、なぜ、ありの行列ができるのでしょうか。

アメリカに、ウイルソンという学者がいます。この人は、次のような実験をして、ありの様子を観察しました。

はじめに、ありの巣から少し離れた所に、一撮みの砂糖を置きました。しばらくすると、一匹のありが、その砂糖を見つけました。これは、餌を探すために、外に出ていた働きあります。あるいは、やがて、巣に帰っていきました。すると、巣の中から、たくさん働きありが、次々と出てきました。そして、列を作って、砂糖の所まで行きました。不思議なことに、その行列は、初めのありが巣に帰る時に通った道筋から、外れていないのです。



つぎ みちすじ おお いし お い て さえぎ
次に、この道筋に大きな石を置いて、ありの行く手を遮ってみました。すると、
ぎょうれつ いし ところ みだ ち ち
ありの行列は、石の所で乱れて、散り散りになってしまいました。ようやく、一匹の
いし む がわ みち つづ み
ありが、石の向こう側に道の続きをを見つけました。そして、砂糖に向かって進んでい
いつひき にひき みち み ある だ
きました。そのうちに、ほかのありたちも、一匹二匹と道を見つけて歩き出しました。
ぎょうれつ かえ
まだだんだんに、ありの行列ができていきました。目的地に着くと、あるいは、砂糖の
つぶ も す かえ
粒を持って、巣に帰っていました。帰るときも、行列の道筋は変わりません。あり
ぎょうれつ さとう かたまり
の行列は、砂糖の塊がなくなるまで続きました。

かんさつ はたら じめん なに みち
これらの観察から、ウイルソンは、働きありが、地面に何か道しるべになるもの
をつけておいたのではないか、と考えました。

はたら からだ しく こま けんきゅう
そこで、ウイルソンは、働きありの体の仕組みを、細かに研究してみました。
しり ところ とくべつ えき だ わ
すると、あるいは、お尻の所から、特別の液を出すことが分かりました。それは、匂いの
じょうはつ えき
ある、蒸発しやすい液です。

はたら えき み みち じめん えき かえ
働きあるいは、餌を見つけると、道しるべとして、地面にこの液をつけながら帰る
はたら にお か にお そ ある
のです。ほかの働きありたちは、その匂いを嗅いで、匂いに沿って歩いていきます。
ばたら えき も かえ とき おな えき じめん
そして、その働きありたちも、餌を持って帰る時に、同じように、液を地面につけながら
ある えき おお にお つよ
歩くのです。そのため、餌が多いほど、匂いが強くなります。

このように、匂いを辿って、餌の所に行ったり、帰ったりするので、ありの行列ができるというわけです。

この液の匂いは、ありの種類によって違うことも分かりました。それで、違った種類のありの道しるべが交わっても、けっして迷うことがなく、行列が続いていくのです。

(宮地裕著『国語三(上)わかば』、光村図書出版、2006.2)

本文を読んで、次の質問に答えなさい。

1. ウイルソンは何のために、ありの様子を観察したのですか。
2. ウイルソンは最初の二つの実験と観察で、どのように実験観察しましたか。
3. この二つの実験観察から、ウイルソンが考察したこと、分ったことはなんですか。
4. 三番目の実験は何ですか。この実験で分かったことはなんですか。
5. 違った種類のありは同じ行列を作ることがあると思われますか。

応用文

動物の能力

もし、オリンピックに、動物が選手として参加したら、金メダルは、みんな取られてしまうだろうと、友達が冗談を言った。なるほど、そうかもしれない。例えば、豹に似た動物のチーターは、時速百十二キロメートルで走ることができるし、カンガルーの高飛びの記録は、三メートル十五センチである。

しかし、考えてみると、彼らがこのような実力を発揮するのは、必要に迫られた場合に限るのである。

チーターが時速百十二キロメートルもの速さで走るのは、獲物を追うときである。

広々としたアフリカのケニアの草原に棲んでいるチーターは、主に、カモシカをとって食べる。見通しのいい草原で、捉えようとするカモシカを見つけると、他の獲

物には目もくれず、まっしぐらに追いかける。たとい、その途中で、他のカモシカが飛び出しても、見向きもしない。チーターは、一度狙った獲物には必ず追いつけるという自信があるのだ。カモシカのスピードが時速六十キロメートルとすれば、チーターは、大体倍のスピードを持っているから、五百メートル離れたところにいる獲物には、三十秒ほどで追いつけるのである。

カンガルーが、高い障害物をジャンプするのは、危険を感じて逃げるときである。

一度、上野公園で、こんなことがあった。夕方、観客が帰った後、園内見回りの夜警が、犬を連れて歩いていた。カンガルーの柵の前まで来ると、今までおとなしくしていたカンガルーが、急に柵を飛び越えて逃げた。

どこの動物園でも、カンガルーのいる所の柵の高さは、二メートルしかない。これだけあれば、逃げないのだ。ところが、この場合、カンガルーは突然、大敵である犬を発見した。自分は、三メートル以上ジャンプできるから、犬も二メートルの柵を超えて、自分を襲ってくるかもしれない。しかも、柵の中は狭い。今のうちに柵の外に飛び出して逃げないと命が危ない、と考えて逃げ出したのだろう。

このように見ると、動物をオリンピックに出場させても、えさを目の前に見せて走らせるとか、あるいは、後ろから脅かして追い立てるとかしないと、本気にならないにちがいない。

林寿郎 東京書籍株式会社〈新しい国語5上〉より

単語

あり①[名]

行列(ぎょうれつ)①[名・自サ]

巣(す)①①[名]

餌(えさ)②①[名]

学者(がくしや)①[名]

実験(じっけん)①[名・他サ]

観察(かんさつ)①[名・他サ]

一撮み(ひとつまみ)②[名・自他サ]

蚂蚁

排列、行列、队伍

巣、窝、穴

餌

学者

实验、试验

观察

一把、一撮

道筋(みちすじ)①[名]	路线、交通路线
外れる(はずれる)①[自一]	脱开、偏离
行く手(ゆくで)①③[名]	去处、去路
遮る(さえぎる)③[他五]	遮挡、干扰、拦截
乱れる(みだれる)③[自一]	混乱、散乱、紊乱
散り散り(ちらちら)①[形動]	散乱(的)、离散
粒(つぶ)①[名・接尾]	粒、颗
塊(かたまり)①[名]	块、群
地面(じめん)①[名]	地面、土地
道しるべ(みちしるべ)③[名]	路标、指南
細か(こまか)②③[形動]	小、细小、详细
尻(しり)②[名]	臀部
液(えき)①[名]	液体
蒸発(じょうはつ)①[名・自サ]	蒸发、失踪
嗅ぐ(かぐ)①[他五]	嗅、闻、探听
沿う(そう)①①[自五]	沿着、按照
辿る(たどる)②①[他五]	边走边找、走难行的路
交わる(まじわる)③[自五]	混合、交往、交叉
考察(こうさつ)①[名・他サ]	考察
金メダル(きんメダル)③[名]	金牌
豹(ひょう)①[名]	豹
チーター①[名]	(非洲、印度产)猎豹
時速(じそく)①①[名]	时速
カンガルー③[名]	袋鼠
高飛び(たかとび)①④[名・自サ]	跳高
記録(きろく)①①[名・他サ]	记录
実力(じつりょく)①①[名]	实力
発揮(はっき)①①[名・他サ]	发挥
迫る(せまる)②[自五]	逼近、临近
限る(かぎる)②[自他五]	限定、只限于、唯有、最好
獲物(えもの)①①[名]	猎物
追う(おう)①①[他五]	追赶、驱赶、追求

広々(ひろびろ)③[副]	辽阔
アフリカ①[名]	非洲
ケニア①[名]	肯尼亚
草原(そうげん)①[名]	草原
棲む(すむ)①[自五]	栖
カモシカ①②[名]	羚羊
見通し(みとおし)①[名]	瞭望
捉える(とらえる)③[他一]	捕捉
目もくれない(めもくれない)[連語]	看也不看一眼
まっしぐら③[副]	勇往直前
たとい②①[副]	即使
狙う(ねらう)①[他五]	把……作为目标
障害物(しょうがいぶつ)④[名]	障碍物
ジャンプ①[名・自サ]	跳跃
観客(かんきゃく)①[名]	观光客
園内見回り(えんないみまわり)⑤[名]	巡视园内
夜警(やけい)①[名]	夜警
柵(さく)②[名]	栅栏
おとなしい④[形]	老实、温顺
飛び越える(とびこえる)④[自一]	跳过去
大敵(たいてき)①[名]	大敌
脅かす(おびやかす)④[他五]	威吓
追い立てる(おいたてる)④[他一]	撵走、逼催
本気(ほんき)①[名・形動]	认真、正经

言葉の使い方

1 できる

◆ 「できる」除了表示主体具有某种能力以外,还可以表示事物的“发生”、“出现”、“完成”等意思。

用事ができたから、^い行けなくなった。/我有事，所以去不了了。

知らない間に、駅の裏にビルができてきました。/不知不覺之間，车站后面已建起了一座大楼。

夏休みの宿題はもう半分以上できた。/暑假作业已经完成一半多了。

2 すると

◆接续词「すると」表示后项随着前面事项的成立而立即发生。或表示根据前项事实，提出讲话人的意见。相当于汉语的“于是”、“这时”、“这么说”。

ゆうべ、家で宿題をしていた。すると、友達から電話がかかってきた。/昨晚在家做作业时朋友来了电话。

「今日は日曜日です。」「すると、あの店は休みだね。」/“今天是星期天。”“这么说，那家商店今天休息。”

なるほど。すると、こういうことですか。/原来如此，那么说来，就是这么回事？

3 そのうち(に)

◆复合副词「そのうち」即可表示“在某范围内”，也可以表示“从现在过不了多久”的意思。

委員は三十人以上いるが、そのうち半分は女性です。/委员有三十多人，其中半数是女性。

木村さんはそのうち来ると思います。/我想木村先生一会儿会来的。

そのうち遊びに来なさい。/过些天来玩吧。

4 目もくれない

◆「目もくれない」是一个惯用短语，表示“看都不看”、“不加理睬”。

映画やテレビには目もくれないで、一生懸命に勉強した。/电影啦电视啦等等，一眼都不看，只顾拼命用功。

彼は費用には目もくれない。/他不把开销放在心上。

大勢の人が通りかかったが、だれひとり彼に目もくれるものはなかった。/大批人从他面前走过，却没有人看他一眼。

5 これだけ

◆「これだけ」由指示代词「これ」和副助词「だけ」构成，即可以表示限定，也可以表

示强调程度之大。相当于汉语“只有这些”或“这么”。

- ◆ これだけの金ではなにも買えない。/这点钱什么也不能买。
- ◆ これだけ言ってまだ分からぬのか。/说了这么多话你还不明白吗?
- ◆ これだけ優れた人物はなかなかいない。/这么优秀的人物是难得的。

文法・文型

1. ~ことに/ことには

◆ 前接表示情感的形容词、形容动词及动词，表示对后续事物的一种评价。相当于汉语的“令人……是……”。

◆ 悲しいことに、かわいがっていた犬が死んでしまいました。/令人伤心的是，心爱的小狗死了。

◆ 残念なことに、君は一緒に行けないのだ。/遗憾的事，你不能一起去。

◆ 驚いたことに、彼は10歳で作曲を始めたのだという。/令人吃惊的是，据说他10岁就开始作曲了。

◆ _____、この学校には同姓同名の学生が三人もいる。

2. ~にむかって

◆ 前接名词，表示方向、去向，或表示要对其采取某种态度、进行某种行为时的对象。相当于汉语的“面对……”、“向……”。

◆ 春に向かってだんだん暖かくなってきた。/春天临近，渐渐暖起来。

◆ 私の部屋は正面に向かって左側にあります。/我的房间在对着正面的左侧。

◆ 親に向かって乱暴な口をきくな。/不可以对父母说话粗野。

◆ 原稿ばかり見ていないで_____。

3. 数量詞十と

◆ 把少的数量和比其多的数量并列，表示次数或数量少量地一点一点增加的情况，表示累加。

◆ 人々は一人、二人と集まってきた。/人们一个、两个地聚集过来。

このコンクールも二回、三回と、回を重ねるうちに、だんだんよくなってきた。/这种竞赛会重复二、三次后，渐渐地好起来了。

二度三度と失敗を繰り返して、ようやく成功しました。/失败了几次后终于成功了。

_____ので、一人二人と戻っていきました。

4. ～に沿って

◆ 前接体言。有二个含义：①表示顺着某路线行动。相当于汉语的“沿着……”；②表示按照某方法、规则、方针办事。相当于汉语的“按照……”、“根据……”等。

この道に沿って東に行けば駅に出ます。/顺着这条路往东走就到车站了。

線路に沿い、広い道があります。/沿着铁路，有一条大道。

これはお客様さんの注文に沿って、特別作ったのです。/这是按照客人的要求特别做的。

線路に沿った道を_____。

会議で決定された計画に沿って、_____。

5. ～やすい

◆ 前接动词连用形，表示该动作很容易做，或表示该事情容易发生。相当于汉语的“容易……”、“好……”、“爱……”等。

弾きやすい曲だから、一年生でも弾ける。/这是一首好弹的曲子，连一年级的学生也能弹。

このコップの品質は良くないので壊れやすい。/这个玻璃杯子质量不好，容易坏。

話し声は穏やかで、親しみやすい感じがしました。/说话声音柔和，觉得平易近人。

_____での、誤解されやすい。

6. ～ほど

◆ 本课「～ほど」是句型「～ば～ほど」的省略形式，前接用言基本形。表示前后项的变化程度按正比关系增减。相当于汉语的“越……越……”。

年を取るほど、体の大切さが分かる/年纪越大越体会到身体的重要。

外国語は練習するほど、うまくなるのだ。/外语是越练越熟。

● 余暇の時間が長くなるほど、使い方を工夫しなければならない。/业余时间越长,就越要想办法如何利用。

● 体験数が多いほど、_____。

7. 数量詞十も

◆ 「数量詞十も」的形式强调数量多、程度高。

● 雨はもう三日も降っている。/雨已经下了三天了。

● いっぺんにビールを20本も飲むなんて、あいつはどうかしているよ。/一次竟要喝 20 瓶啤酒,那家伙怎么了。

● ほしいけれど、10万円もするなら、買えない。/很想要,可是要十万日元的话,我可买不起。

● 掃除係りなんかでも、一人の募集に対して、_____。

8. たとえ～ても

◆ 「たとえ」和「ても」结合构成句型,表示前项以让步的形式假设某种情况,后项强调即使在该情况下,结果、结论等也不会受到影响,发生变化。相当于汉语的“即使……也……”等。

● たとえ仕事が辛くてもあまり文句を言わないほうがいい。/即使工作辛苦也不要发牢骚的好。

● たとえ嫌いでも、口に出すわけにはいかない。/尽管讨厌,也不能说出来。

● たとえ大統領でも、国の法律を守るべきだ。/即使是总统,也应该遵守国家的法律。

● たとえ相手が社長でも、_____。

9. ~とすれば

◆ 前接活用词基本形。表示假设某种情况,相当于汉语的“如果……的话”“假设……的话”。类似的句型有「～としたら」「～とすると」。

● もし外国へ留学できるとすれば、どこへ行きたいですか。/要是能出国留学,你想去哪儿?

● 20人来るとすれば、この部屋はちょっと狭すぎるだろう。/如果来 20 个人,这个房间窄了一点吧。

この結婚に反対する人がいるとすれば、それはたぶんお母さんでしょう。/假如有人反对这宗婚姻的话,我想那个人大概是你母亲吧。

一本10円のを買うとすれば、_____。

10. ~ないと~ない

◆ 前接活用词未然形,表示如果前项不成立的话,后项也不能成立。相当于汉语的“不……就不……”。

デパートは十時にならないと開かない。/百货商店不到十点不开门。

もっと大きく書かないと、はつきり見えないよ。/不写得再大一点就看不清楚。

いますぐ手術をしないと、この急病人は助かりません。/如果不立即做手术,这位急病患者就没救了。

洗濯機でないと、_____。

練習問題

一、次の言葉の読み方を平仮名で書きなさい。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 隅 | 2. 粒 | 3. 塊 | 4. 石 | 5. 液 |
| 6. 巣 | 7. 餌 | 8. 嗅ぐ | 9. 沿う | 10. 遷る |
| 11. 迷う | 12. 外れ | 13. 遮る | 14. 探す | 15. 交わる |

二、下線部の言葉を漢字と平仮名に書き換えなさい。

- 開店を待つ長いぎょうれつ出来た。
- 動物を苦しめるじつけんに反対する。
- 一流選手の動きをよくかんきつしてまねてみる。
- 彼ははじめんに座ったまま動こうとしない。
- 田中君は正式に大学は出でないがじつりょくはある。
- あの人は立派な才能をはつきできず、一生を終えた。
- 映画のかんきやくが減ってきてる。
- 過去のきろくをたどったが先例がなかった。
- ねらった獲物は必ず手に入れる。
- 今までおとなしくしていたカンガルーが、急に柵をとびこえて逃げた。

三、枠の中から言葉を一つ選んで、適當な形にして()の中に入れなさい。

- | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 外れる | 離れる | 遮る | 乱れる | 辿る |
| つける | 迫る | 交わる | 超える | 脅かす |